

EGOTERIC

P-0



D00373300A

TEAC

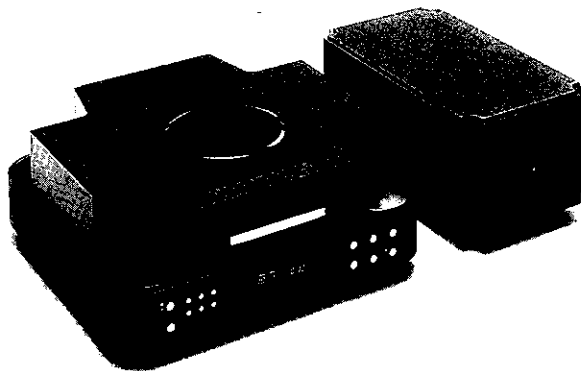
エソテリック製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、一台一台が数多くの厳しい品質管理を受けて製造されております。

P-0は、エソテリック・シリーズの最高峰トランスポートとして誕生しました。

最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくご使用になり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

また、お読みいただいたあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。



目次

特長	3
安全にお使いいただくために	4~5
ご使用前に	6~7
■設置のご注意 ■高さ調節について	
■使用上のご注意 ■電源の極性管理について	
■コンパクトディスクについて	
各部の名称	8~10
■本体前面	
■電源部 ■リモート・コントロール・ユニット	
■本体背面 ■電源部背面	
リモコンについて	11
■リモコン使用上の注意 ■乾電池について	
接続	12~13
■DIGITAL OUTの接続 ■WORD SYNC INの接続	
■電源の接続	
演奏	14~15
■基本操作(ノーマル演奏) ■トレイが開いたままでも	
■演奏モードを選択するには ■シングル演奏	
順番を変えて演奏する	16~18
■聞きたい順に演奏する ■曲を省いて演奏する	
■プログラムのチェック ■プログラムの修正	
繰り返して演奏する	19~20
■1曲を繰り返して演奏する ■全曲を繰り返して演奏する	
■ある部分をを繰り返して演奏する	
■プログラム・リピート演奏	
選曲して演奏する	21~22
■ダイレクト選曲 ■スキップ・キーで選曲する	
■早送り/早戻しで選曲する	
■サーチ・モードで演奏指定する	
■インデックスで演奏指定する	
演奏時間をみる	23
■ディスプレイ・モードについて ■演奏時間をみるには	
特殊機能について	24~27
■曲間を開けて演奏する ■演奏中に表示を消す	
■ワード・シンクについて ■TOC作成機能について	
■プロテクト・モードについて ■サーボ・モードについて	
解説	28
ブロック・ダイヤグラム	29
保証とアフターサービス	30
仕様	31
寸法図	32~33

特長

P-0 CDトランスポート

■ディスクの面振れ・振動を排除する

新VRDSメカニズム

ディスクと同径のターンテーブルにディスクを確実にクランプさせることにより、ディスク自身の持つ固有振動やメカニズム系の不要振動を徹底排除しています。また、ディスク圧着面にゆるやかな傾斜を与えることにより、ディスクの反りや歪みを矯正しています。さらに、光学ピックアップとディスクのピット面の相対光軸精度が向上するため、サーボ電流が軽減されます。以上のことは、ディスク読み取りエラーを減少させ、かつクロック回路へのタイミングエラー発生防止にも効果を発揮します。スピンドルモーターには新設計の高トルクハイレスポンスモーターを採用するとともに、ブリッジの強化および3点ピンポイント支持により、高剛性低振動化、およびピックアップ系との振動絶縁をしました。

■新スレッド送り機構採用

ロスレス精密ボールネジと5相ステッピングモーター+マイクロステップ制御の構成により、1ステップの送り量を0.1マイクロメートル(1万分の1ミリ)単位の分解能で、瞬時に制御することが可能になりました。

■1チップ32ビット高速マイコン採用

リアルタイム、マルチタスキング方式のプログラム手法を用い、疑似マルチCPU化を実現。タスク(処理、制御)の多重化ができ、ディスク偏芯追従タスクとその他のタスクを並列に処理しているため、より高速かつ高精度な制御が可能となりました。

■最先端デジタル・サーボ搭載

電気公差とタイミング公差に優位な光学誤差信号の直接電流A/D変換入力、一次 $\Delta\Sigma$ ビット・ストリーム方式の信号処理とスイッチド・キャパシター方式のD/A変換出力(DAC7)構成の最先端デジタル・サーボを搭載。リファレンス・モード、ノーマル・モードはもとより、フォーカス/トラッキング/スピンドルの各サーボ量を自由自在に調整可能なマニュアル・モードをも実現しました。

■プリディクション・サーチ(予見サーチ)搭載

各ディスクごとにトラックピッチ、線速度、再生開始半径などの測定を行いレンズの絶対位置を計算、従来のグループ数に頼る方式でないため、傷、黒点、指紋などの状態の悪いディスクに強く、瞬時に目的位置に到達します。




■その他の機能・特長


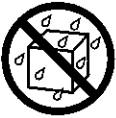



- 振動による悪影響を極力排除するアルミ砂型高剛性シャーシー採用。
- 高精度アルミダイキャストケース光ピックアップ。
- TOC作成プログラム機能。
- ピックアップ光軸中点制御。
- 3相8極星型結線ブラシレス・スピンドル・モーター。
- 独立3電源トランス(出力用、サーボ用、表示用)。
- ワードシンク機能。
- ST/XLR/RCA/BNCの4デジタル出力。
- リモコン雑音除去回路。

安全にお使いいただくために

- この取扱説明書の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や財産への損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをする
と、発生が想定される内容を〔警告〕、〔注意〕に区分して絵表示をしています。内容をよく理解し
てから本文をお読みください。
- 注意事項のいずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

	<p>△記号は、警告または注意を促す内容があることを告げるものです。</p>
	<p>⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。</p>
	<p>●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。</p>

 <h2 style="display: inline;">警告</h2>	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの水や液体の入った容器を置かないでください。または内部に異物を入れないでください。万一、水や異物が入ったときは、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●万一、煙が出たり、変な臭いや音がするなどの異常があるときは、すぐ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電圧(交流100V)以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードの上に重い物をのせたり、コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したり、束ねたりしないでください。コードが破損(芯線の露出、断線)し、火災・感電・発熱の原因となります。コードが傷んだら、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用しないでください。 ●電池を充電しないでください。電池の破壊、液もれにより、火災・けがの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●自分自身で修理したり、分解したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。 ●この機器を改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- 次のような場所に置かないでください。火災・感電・けがの原因となることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所。
 - ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・ 湿気やほこりが多い場所。湯気や油煙が当たる場所。
 - ・ 極端に温度が低い場所。



- 電池を誤って使用しないでください。破壊や液もれにより、火災・けがの原因や周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 指定以外の電池を使わない。古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
 - ・ プラス(+)とマイナス(-)の極性表示に注意し、電池ケースの指示通りに入れてください。
 - ・ 電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火や水の中に投げ込んだりしない。



- 本機には鉄製のスパイク脚が付いています。設置の際、けがをしないようにご注意ください。また、スパイクで家具や台に傷を付けないようにご注意ください。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。視力障害を起こすことがあります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- お子様ディスクの挿入口に手を入れないようにご注意ください。手や指をはさみ、けがの原因となることがあります。



- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電・火災の原因となることがあります。
- 本機を移動するときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず先端のプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、感電やショートして発火する原因となることがあります。
- リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて周囲を汚損する原因となることがあります。
- 本機の質量は、本体30kg/電源部17.2kgあり大変重いので、開梱時や設置および移動のときは二人で行うなど、けがをしないように十分ご注意ください。

ご使用の前に

■設置のご注意



注意

次のような場所に置かないでください。音質低下の原因、または故障する原因となります。

- 振動の多い場所や不安定な場所。
- 窓際など、直射日光が当たる場所。
- 暖房器具のそばなど、極端に温度が高い場所。
- 極端に温度が低い場所。
- 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- チューナー、テレビなどのそば。
雑音の原因や映像が乱れることがあります。

■高さ調節について

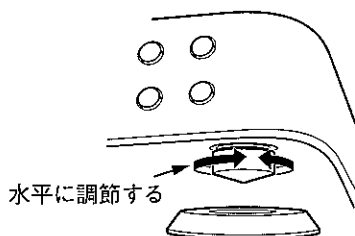


注意

本機には、硬質樹脂製脚と鉄製スパイク脚（フット）が付いています。

スパイク脚で設置する際は、付属のフットベース（スパイク脚受け皿）を使用します。

- スパイク脚は前面の右側（PAUSEボタン側）だけが、ねじ込み式で回転します。設置の際、スパイク脚を回し、本機が安定するように高さ調節をしてください。
設置場所や設置のしかたが悪いと、本機の動作音が大きくなる場合があります。
- 設置の際、スパイク脚でけがをしないようにご注意ください。また、スパイク脚で家具や台に傷を付けないようにご注意ください。



■使用上のご注意



注意

本体のお手入れは

本機を化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で拭かないでください。表面を傷める原因となります。トップカバーやパネルの汚れは、柔らかい布に薄めた中性洗剤液を少し含ませて拭いてください。

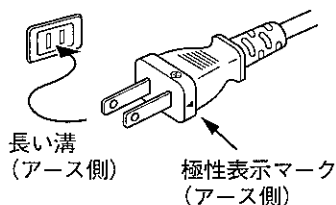
スタビライザーを使わない

市販のCD用スタビライザーを使わないでください。演奏ができなくなったり、故障の原因となります。


■電源の極性管理について

本機は、より良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の“極性表示”▲と〔N〕印が付いています。本機では、“極性表示”印の付いている方がアース側です。

一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。“極性表示”印が付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみる、などの方法で音質の良い方を選択してください。

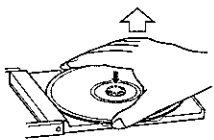


■コンパクトディスクについて

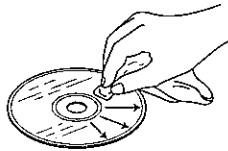
本機は、コンパクトディスク(CD)専用のプレーヤーです。CDにマークが入っているなど、JIS規格に合致しているディスクをお使いください。

- ディスクをケースから取り出すときは、必ず一度、ケースの中心を押して、ディスクの外周部を手ではさむように持って取り出してください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかい布で中心から外側へ直角方向に、軽く拭いてください。汚れは、音飛びの原因になります。使用後は清掃して、ケースに入れて保管してください。

ディスクの取り出し方



ディスクの拭き方



- 直射日光が当たる場所や高温になる所、また湿気の多い所に置かないでください。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ひびが入ったディスクを使わないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどを剥したあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出ているCDは使わないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使わないでください。取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

特殊形状ディスクの例



ご注意

結露現象について

冬期など、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を置いている部屋の暖房を入れた直後などには、動作部に水滴(結露現象)がつき、正常に演奏ができないことがあります。電源を入れたまま1~2時間放置すると、水滴がとれて正常に動作するようになります。

音のエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞ください。特に夜は小さな音でも、周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなど、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

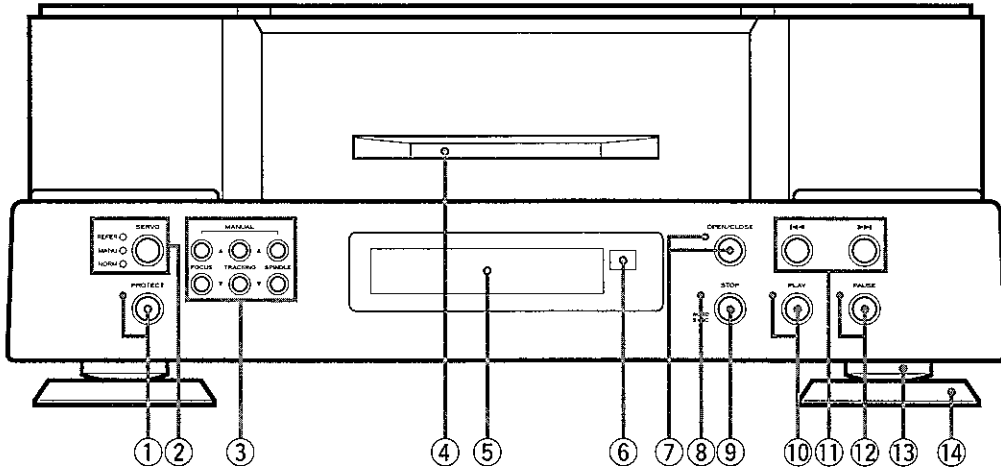
このマークは、音のエチケットのシンボルマークです。



音のエチケット

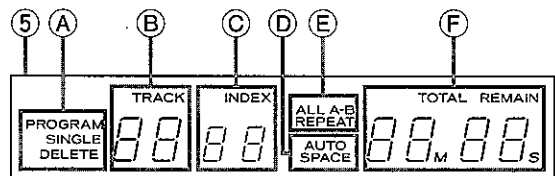
各部の名称

■本体前面

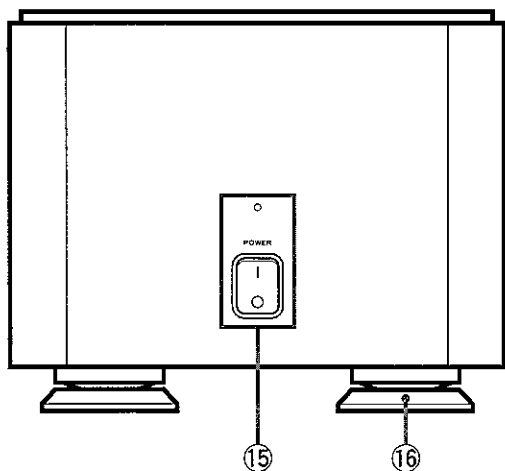


() の数字は説明があるページです。

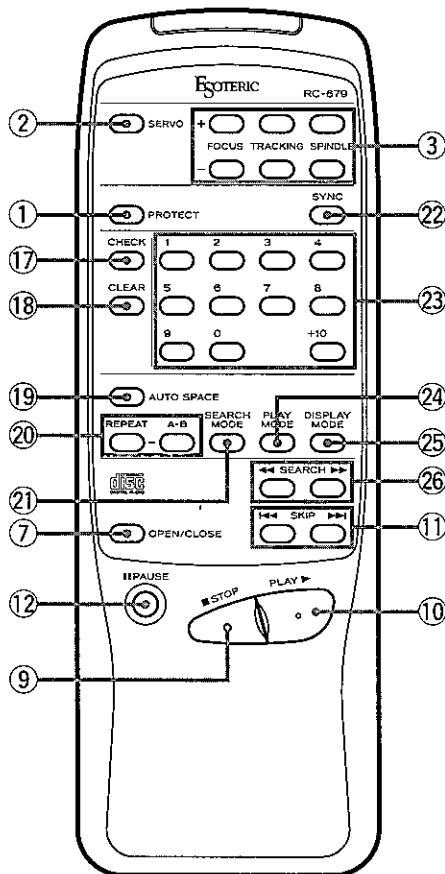
- ①プロテクト・モード・キー〔PROTECT〕 & プロテクト・インジケータ (25)
- ②サーボ・モード・キー〔SERVO〕 & サーボ・モード・インジケータ (26、27)
 - ・リファレンス・モード〔REFER〕
 - ・マニュアル・モード〔MANU〕
 - ・ノーマル・モード〔NORM〕
- ③サーボ・ゲイン設定キー〔MANUAL〕 (27)
 - ・フォーカス・ゲイン設定キー〔FOCUS〕
 - ・トラッキング・ゲイン設定キー〔TRACKING〕
 - ・スピンドル・ゲイン設定キー〔SPINDLE〕
- ④ディスク・トレイ (14)
- ⑤表示窓
 - Ⓐ プレイ・モード表示〔PROGRAM/SINGLE/DELETE〕
 - Ⓑ トラック・ナンバー表示〔TRACK〕
 - Ⓒ インデックス・ナンバー表示〔INDEX〕
 - Ⓓ オート・スペース表示〔AUTO SPACE〕
 - Ⓔ リピート・モード表示〔ALL/A-B/REPEAT〕
 - Ⓕ タイム・カウンタ〔TOTAL/REMAIN〕
- ⑥リモコン受光部 (11)
- ⑦オープン/クローズ・キー〔OPEN/CLOSE〕 & オープン/クローズ・インジケータ (14)
- ⑧ワード・シンク・インジケータ〔WORD SYNC〕 (24)
- ⑨ストップ・キー〔STOP〕 (14)
- ⑩プレイ・キー〔PLAY〕 & プレイ・インジケータ (14)
- ⑪スキップ・キー〔I◀◀/▶▶I〕 (21)
- ⑫ポーズ・キー〔PAUSE〕 & ポーズ・インジケータ (14)
- ⑬スパイク・フット (6)
- ⑭フット・ベース (付属) (6)



■電源部



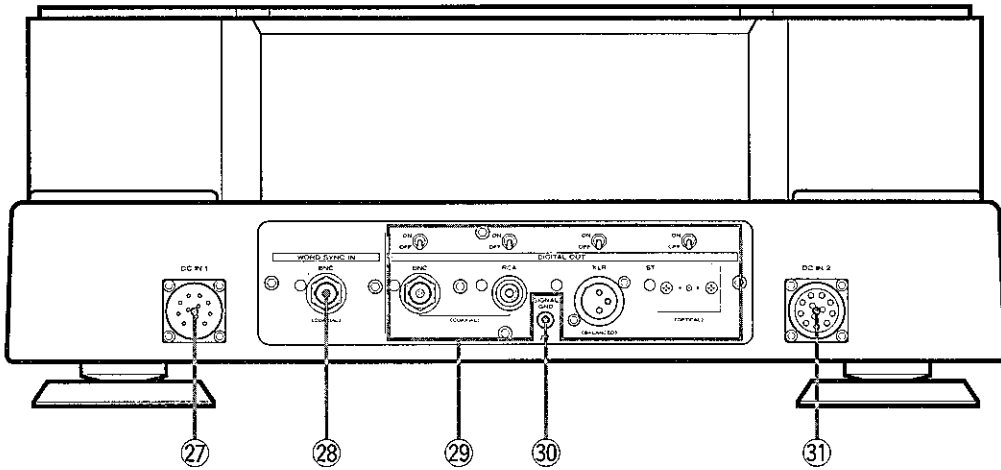
■リモート・コントロール・ユニット
(リモコン) RC-679



- ⑮電源スイッチ〔POWER〕 & パワー・インジケータ (14)
- ⑯電源部フット・ベース (付属)
- ⑰チェック・キー〔CHECK〕 (16、17、18)
- ⑱クリアー・キー〔CLEAR〕 (16、17、18)
- ⑲オート・スペース・キー〔AUTO SPACE〕 (24)
- ⑳リピート/A-Bキー〔REPEAT/A-B〕 (20)
- ㉑サーチ・モード・キー〔SEARCH MODE〕 (22)
- ㉒ワード・シンク・キー〔SYNC〕 (24)
- ㉓テン・キー〔1~0、+10〕 (15~21)
- ㉔プレイ・モード・キー〔PLAY MODE〕 (15)
- ㉕ディスプレイ・モード・キー〔DISPLAY MODE〕 (23、24)
- ㉖サーチ・キー〔◀◀ SEARCH ▶▶〕 (21)

※本体前面と同じ番号のキーは、本体でもリモコンでも同様に操作ができます。

■ 本体背面



②⑦DC電源入力端子〔DC IN 1〕 (13)

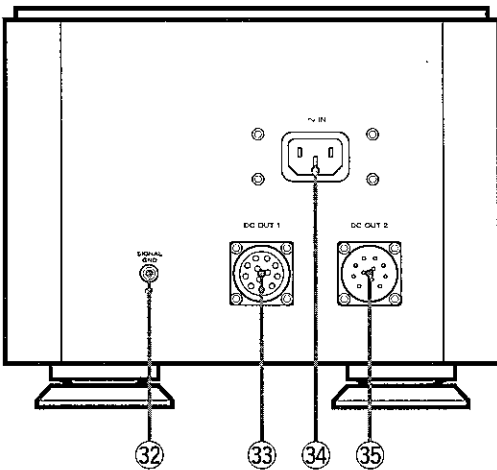
②⑧ワード・シンク入力端子
〔WORD SYNC IN〕 (12)

②⑨デジタル出力端子〔DIGITAL OUT〕 &
出力ON/OFFスイッチ (12)

— ご注意 —

デジタル出力ON/OFFスイッチについて
デジタル出力スイッチは、お使いになる出力端
子のみON (他の3個はOFF) にしてください。

■ 電源部背面



③⑩アース端子〔SIGNAL GND〕 (13)

③①DC電源入力端子〔DC IN 2〕 (13)

③②電源部アース端子〔SIGNAL GND〕 (13)

③③DC電源出力端子〔DC OUT 1〕 (13)

③④電源コード接続ソケット (13)

③⑤DC電源出力端子〔DC OUT 2〕 (13)

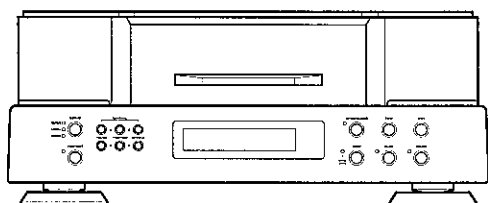
リモコンについて

■リモコン使用上の注意

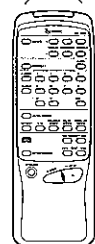


警告

- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池の液もれを防ぐために、乾電池をケースから取り出してください。液もれしたときは、付着した液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 本機の受光部に向けて操作してください。障害物があると、操作できません。
- 赤外線で作る他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、他の機器を誤動作させることがあります。



7m



(RC-679)

■乾電池について



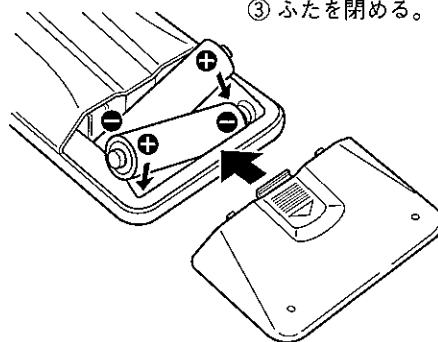
注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂のおそれがあります。乾電池の注意事項を守り、正しくお使いください。

1. 裏ぶたを開け、単3の乾電池2本を+と-の表示を確認して電池ケースに入れ、ふたを閉じてください。
2. 種類の違う乾電池、または新しい乾電池と使った乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池は絶対に充電しないでください。
4. 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、水中や火中に投げ込んだりしないでください。
5. 操作範囲が狭くなったり、操作ができなときは、乾電池が消耗しています。2本とも、新しい乾電池に交換してください。

乾電池の入れかた

- ① 裏ぶたを開ける。
- ② 十とーを確認して、単3乾電池を2本入れます。
- ③ ふたを閉める。



接続

接続する前に、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。電源コードは、最後に接続してください。

■DIGITAL OUTの接続

本機のST (OPTICAL)、XLR (BALANCED)、RCA (COAXIAL)、BNC (COAXIAL) 端子とD/Aコンバーター (D-30など)、またはD/Aコンバーター内蔵のアンプを各種接続コード (別売) で接続します。

- ST (OPTICAL) : ST光デジタル・ケーブルで接続。
- XLR (BALANCED) : XLRデジタル・ケーブル (BALANCED) で接続。
- RCA (COAXIAL) : RCA同軸コードで接続。
- BNC (COAXIAL) : BNC同軸コードで接続。

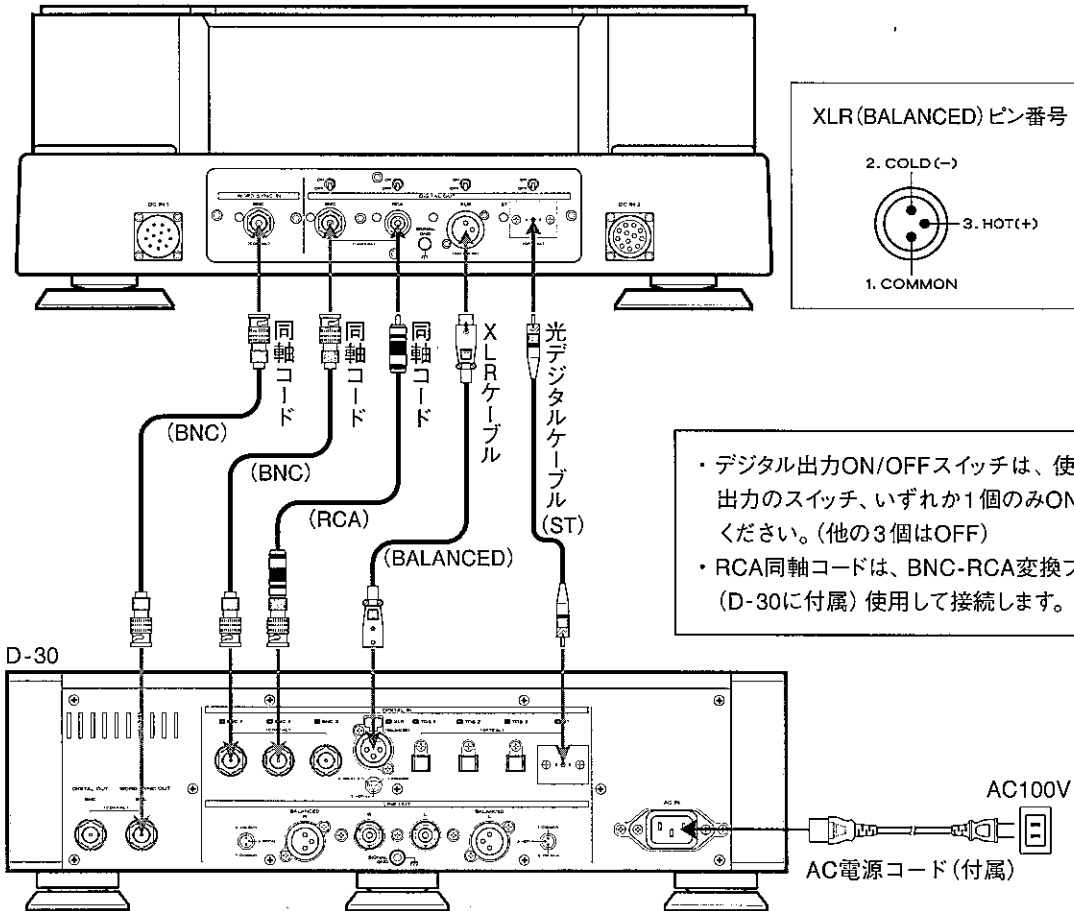
※ [BNC] 端子にBNC-RCA変換プラグ (D-30に付属) を接続すると、RCA同軸コードで接続できます。

※ デジタル出力 [DIGITAL OUT] は、複数同時に出力できますが、使用する出力のスイッチ、いずれか1個のみ“ON”にしてください。

※ [OPTICAL] 端子に接続するときは、端子のキャップを外してください。接続しないときは、キャップをはめておいてください。

■WORD SYNC INの接続

[WORD SYNC IN] 端子は、[WORD SYNC OUT] 端子がある機器 (D-30はBNC同軸コード) と接続します。

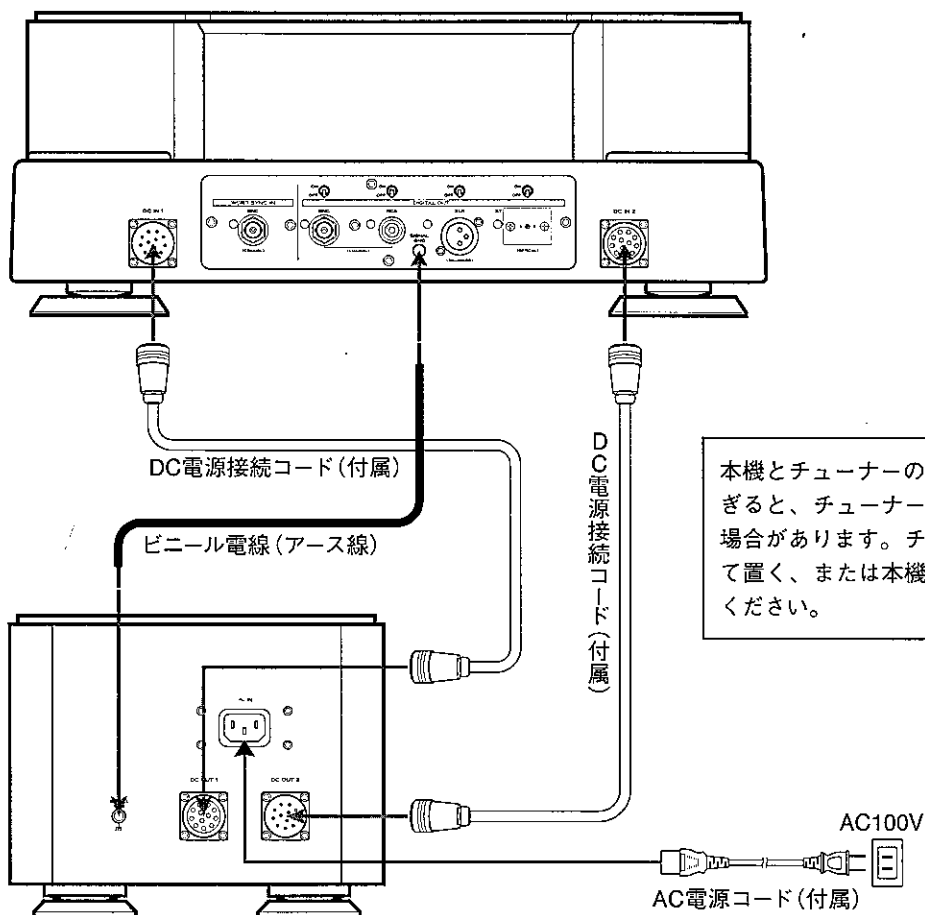
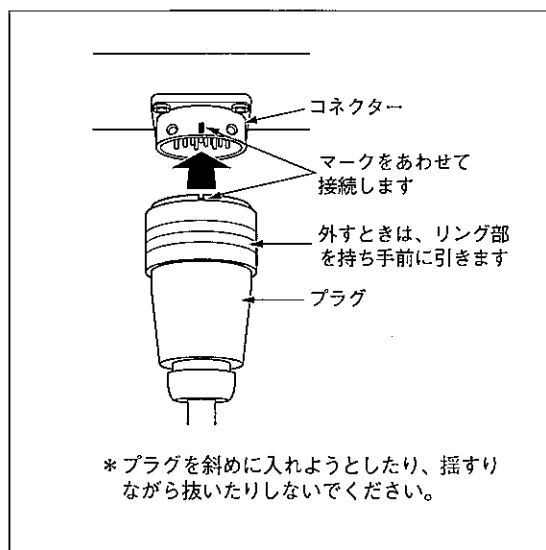


■電源の接続



警告

- 電源コード(付属)のプラグを持って、AC(交流)100Vの電源コンセントに差し込んでください。
- DC(直流)電源接続コード(2本付属)は、凸凹を確認してプラグ部を持ち、プラグとコネクターのマークを合わせて、“カチッ”と音がするまで確実に押し込みます。
- DC電源コードを外すときは、リング部を持って手前に引き抜きます。
- 本体と電源部の[SIGNAL GND]をビニール電線(市販)でアース接続をしてください。



本機とチューナーの設置場所が近すぎると、チューナーにノイズが入る場合があります。チューナーを離して置く、または本機の電源を切ってください。

演奏

■基本操作(ノーマル演奏)

1. 電源部の[POWER]スイッチを押す。

- リモコンで操作することはできません。



電源が入ると、インジケータが点灯します。

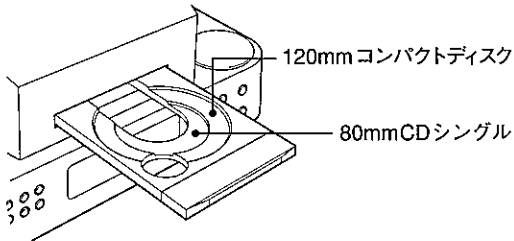
2. [OPEN/CLOSE]キーを押す。

- ディスク・トレイが手前に出てきます。



インジケータが点滅します。

- ディスクは、レーベル面を上向きにして、トレイの中央にのせます。



3. [OPEN/CLOSE]キーを押す。

- インジケータが点滅し、トレイが閉じます。
- [PLAY]インジケータが点滅し、ディスクのTOC情報を読み取り、総曲数と総演奏時間を表示します。



総曲数

総演奏時間

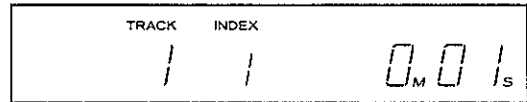
※本機は、ディスクに記録された情報を読み取り、さまざまな測定を行って、データを学習しますので演奏開始まで多少時間がかかります。

4. [PLAY]キーを押す。

- ディスクの1曲目から演奏を始めます。



インジケータが点灯します。



5. 一時停止は[II PAUSE]キーを押す。

- 再び演奏するには、[PLAY]キーを押します。



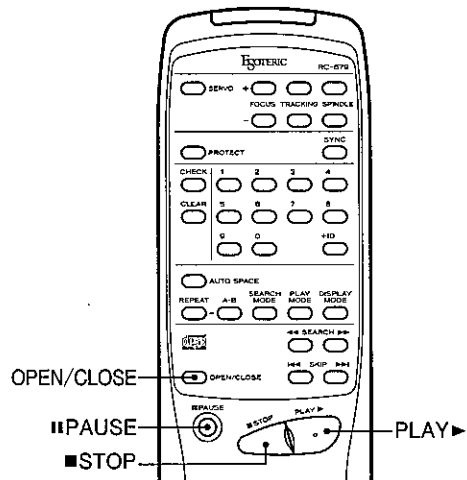
インジケータが点灯します。

6. 停止は[■STOP]キーを押す。



7. ディスク交換は[OPEN/CLOSE]キーを押す。

- トレイが開くと、SEARCH MODE、PLAY MODE、DISPLAY MODE、REPEAT MODE、AUTO SPACEの各モードは自動的に解除し、初期化します。



(このページの操作で使用するキー)

■トレイが開いたままでも……

[PLAY▶]キーを押すと……

トレイが自動的に閉じ、1曲目から演奏を始めます。

テン・キー (リモコン) を押すと……

トレイが自動的に閉じ、“テン・キー”で指定した曲番から演奏を始めます。

[II PAUSE]キーを押すと……

トレイが自動的に閉じ、1曲目の頭で一時停止します。[PLAY▶]キーを押すと、演奏を始めます。

■演奏モードを選択するには (PLAY MODE)

停止中に [PLAY MODE] キーを押すと、演奏モードを選択することができます。

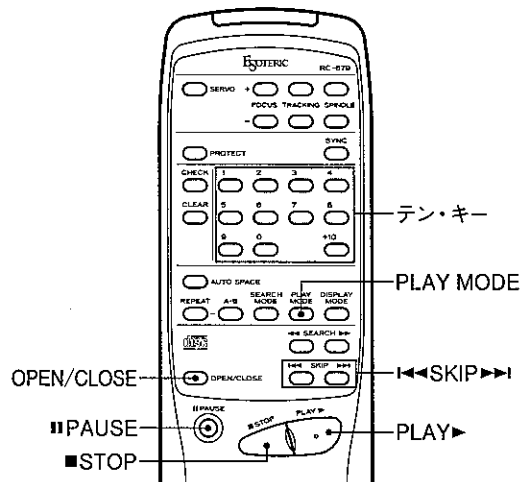
[PLAY MODE] キーを押す度に、ノーマル・モード → “SINGLE” → “PROGRAM” → “DELETE PROGRAM” のモードになり、さらにキーを押すとノーマル・モードに戻ります。

- ノーマル演奏：点灯/表示ありません。
全曲を順次演奏して停止します。
- シングル演奏：“SINGLE”点灯
指定の1曲だけを演奏して停止します。
- プログラム演奏：“PROGRAM”点灯
プログラム曲番順に演奏して停止します。
- デリート・プログラム演奏：
“DELETE PROGRAM”点灯
プログラム曲番を除いて、順に演奏して停止します。
- トレイを開けると、選択モードを解除してノーマル・モードに戻ります。

■シングル演奏 (SINGLE)

指定の1曲だけを演奏して停止します。

1. 停止中に [PLAY MODE] キーを押して、シングル演奏モードにする。
 (“SINGLE”点灯)
2. 曲番を“テン・キー”または [I<<<SKIP>>>I] キーで選曲する。
 ● “テン・キー”で選曲すると、演奏が始まります。
3. [PLAY▶]キーを押す。
 ● [I<<<SKIP>>>I]で選曲したときは、[PLAY▶]キーを押すと、演奏が始まります。
 ● 停止中に [PLAY MODE] キーを3回押し、“SINGLE”表示を消すと、シングル演奏が解除します。



(このページの操作で使用するキー)

順番を変えて演奏する

■聞きたい順に演奏する

(プログラム演奏)

停止中に聞きたい曲を聞きたい順に、99曲までプログラムして演奏することができます。

例：2→8→4→15→10の順に演奏する場合。

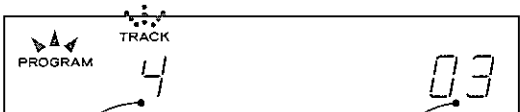
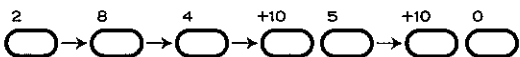
1. 停止中に〔PLAY MODE〕キーを押して、プログラム・モードを選択する。

(“PROGRAM”点灯/“TRACK”点滅)

- 演奏中、または一時停止中にプレイ・モードの選択はできません。



2. テン・キーを押して入力する。



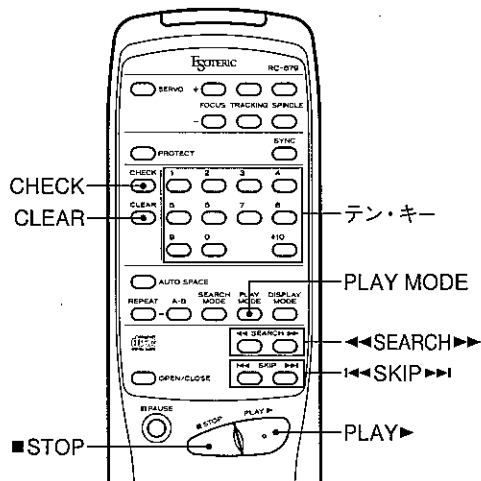
曲番 (TRACK No.)

曲順 (演奏順)

- 同じ曲番をプログラムすることができます。
- プログラム入力をする度 (入力受け付けされると) に、曲番と曲順を表示します。
- “PAUSE”をプログラムすることはできません。
- 曲番を間違えて入力したときは、入力受け付け後に〔CLEAR〕キーを押すと、取り消しができます。
- プログラム入力中 (“TRACK”点滅) に〔◀◀SEARCH▶▶〕キーを押すと、プログラムの確認をすることができます。
- 〔■STOP〕キー、または〔PLAY▶〕キーを押すと、プログラムの入力は終了します。
(“TRACK”点灯)

3. 〔PLAY▶〕キーを押す。

- 曲順1から順に演奏します。最後のプログラム曲の演奏が終ると停止します。
- プログラム演奏が終了して停止したときも、または〔■STOP〕キーを押して演奏を止めたときも、プログラムデータは保存されています。
- プログラム演奏中に、〔◀◀SKIP▶▶〕キーを押すと、プログラム曲を選択できます。
- プログラム演奏中に、〔◀◀SEARCH▶▶〕キーを押すと、演奏中の曲の早送り、早戻しができます。キーを押し続けると、曲の頭または曲の終わりかで一時停止 (ポーズ・モード) します。
- プログラム演奏では、インデックス・サーチ、タイム・サーチはできません。また、TOTAL、TOTAL REMAINタイム表示はできません。
- 停止中に〔CHECK〕キーを2回押すと、最初のプログラム曲番とプログラム番号“01”を表示 (“TRACK”点滅) します。〔◀◀〕キーを押すと、曲番が消えて (“TRACK”点滅) プログラム番号“00”を表示します。このとき、〔CLEAR〕キーを押すと、全てのプログラムが消滅します。
- ディスク・トレイを開けると、全てのプログラムが消滅します。



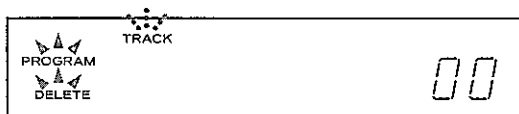
(このページの操作で使用するキー)

■曲を省いて演奏する (デリート・プログラム演奏)

停止中に、演奏したくない曲をプログラム (99曲まで可能) すると、プログラムした曲を省いて演奏 (デリート・プログラム演奏) することができます。プログラム演奏とは反対の意味合いを持ちますが、プログラムの手順は同じです。

1. 停止中に [PLAY MODE] キーを押して、デリート・プログラム・モードを選択する。 ("PROGRAM DELETE" 点灯/ "TRACK" 点滅)

- 演奏中または一時停止中は、プレイ・モードの選択ができません。



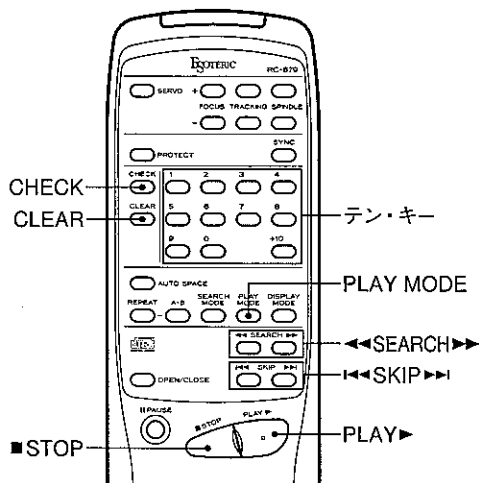
2. 省きたい曲番をテン・キーで入力する。

- 曲番を入力をする度に、曲番と曲順を表示します。
- 曲番を間違えて入力したときは、入力受け付け後に [CLEAR] キーを押すと、取り消しができます。
- [■STOP] キー、または [PLAY▶] キーを押すと、デリート・プログラムの入力は終了します。
("TRACK" 点灯)

3. [PLAY▶] キーを押す。

- デリート・プログラム曲を省いて演奏します。最後の曲の演奏が終ると停止します。
- デリート・プログラム演奏中に、[◀◀SKIP▶▶] キーを押すと、デリート・プログラム曲を除いて、演奏できる曲を選択できます。

- デリート・プログラム演奏中に、[◀◀SEARCH▶▶] キーを押すと、演奏中の曲の早送り、早戻しができます。キーを押し続けると、曲の頭または曲の終わりで一時停止 (ポーズ・モード) します。
- デリート・プログラム演奏が終了して停止したときも、または [■STOP] キーを押して演奏を止めたときも、デリート・プログラム・データは保存されています。
- デリート・プログラム演奏では、インデックス・サーチ、タイム・サーチはできません。また、TOTAL、TOTAL REMAIN タイム表示はできません。
- 停止中、[CHECK] キーを2回押すと、最初のデリート・プログラム曲番、プログラム番号 "01" を表示 ("TRACK" 点滅) します。[◀◀] キーを押すと、曲番が消えて ("TRACK" 点滅) プログラム番号 "00" を表示します。このとき、[CLEAR] キーを押すと、全てのデリート・プログラムが消滅します。
- ディスク・トレイを開けると、全てのデリート・プログラムが消滅します。



(このページの操作で使用するキー)

■プログラムのチェック

- プログラム・モードまたはデリート・プログラム・モードの入力中、または演奏中に〔CHECK〕キーを押すと、最初のプログラム曲番とプログラム番号“01”を表示(“TRACK”点滅)します。
- この状態で、〔◀◀SEARCH▶▶〕キーを押すと、プログラム曲番(またはデリート・プログラム曲番)とプログラム番号(またはデリート・プログラム番号)をチェックすることができます。
- 〔CLEAR〕キーを押すと停止中、または演奏中の表示に戻ります。
- プログラム・モードまたはデリート・プログラム・モードの演奏中にTOTAL、TOTAL REMAINタイムをチェックすることはできません。

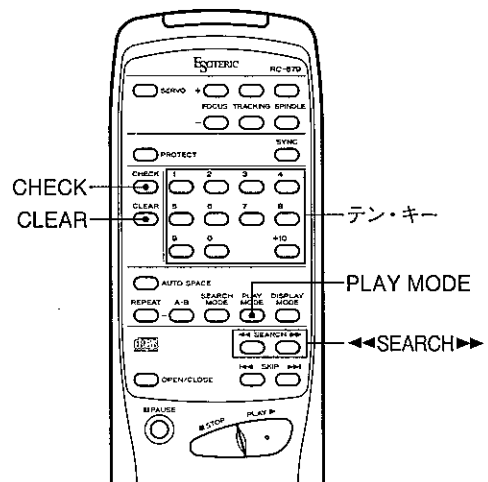
■プログラムの修正 (追加/削除)

■プログラムの追加

- さらに、プログラム曲(またはデリート・プログラム曲)を追加する場合は、停止中に再度、〔PLAY MODE〕キーを数回押し、プログラム・モード(またはデリート・プログラム・モード)にします。表示窓に最後のプログラム曲番、プログラム番号(またはデリート・プログラム曲番、デリート・プログラム番号)を表示します。
- “テン・キー”で追加したい曲番を入力すると、プログラムの最後に追加されます。
- プログラムの途中で曲を追加する場合は、停止中に〔◀◀SEARCH▶▶〕キーを押し、追加したいプログラム番号の前のプログラム番号を表示させ、“テン・キー”で追加したい曲番を入力します。

■プログラムの削除

- 停止中に〔PLAY MODE〕キーを数回押して、再度プログラム・モード(またはデリート・プログラム・モード)にします。表示窓に最後のプログラム曲番、プログラム番号(またはデリート・プログラム曲番、デリート・プログラム番号)を表示します。
- このとき、〔CHECK〕キーを押すと、最初のプログラム曲番とプログラム番号“01”(または最初のデリート・プログラム曲番、デリート・プログラム番号“01”)を表示(“TRACK”点滅)します。
- 〔◀◀SEARCH▶▶〕キーを押し、削除したい曲番を表示させて〔CLEAR〕キーを押すと、表示の曲番が削除されます。(デリート・プログラム・モードでは、演奏する曲に戻ります。)
- ディスク・トレイを開けると、全てのプログラムが消滅します。



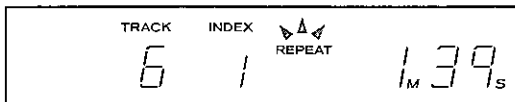
(このページの操作で使用するキー)

繰り返して演奏する

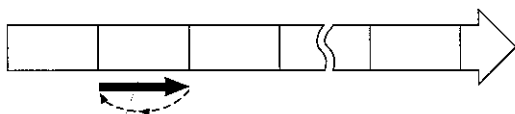
ディスクの全曲、1曲、または聞きたい部分 (A-B) を繰り返し、演奏することができます。シングル演奏、プログラム演奏、デリート・プログラム演奏でも繰り返し、演奏することができます。

■1曲を繰り返して演奏する (1曲リピート演奏)

1. 停止中または演奏中に [REPEAT] キーを押す。
 - リピート・モードになります。 (“REPEAT” 点灯) 演奏中のときは、演奏中の曲を繰り返し演奏します。



2. テン・キーで曲を指定する。
 - 停止中のときは、テン・キーで選曲すると演奏を始めます。指定の曲を繰り返して演奏します。
 - 演奏中に [I<<<SKIP>>>I] キーを押すと、演奏曲を変更することができます。
3. [PLAY▶] キーを押す。
 - 停止中 [I<<<SKIP>>>I] キーで選曲したときは、[PLAY▶] キーを押すと演奏を始めます。



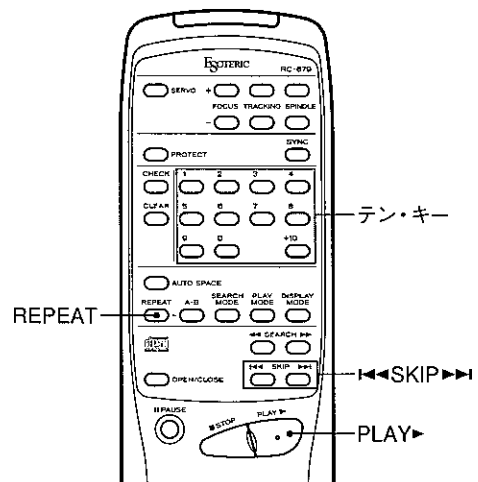
- シングル演奏 (“SINGL” 点灯) のときは、演奏中の曲を繰り返します。“ALL REPEAT” 表示にしても、演奏中の曲を繰り返します。
- リピートを解除するには、[REPEAT] キーを押して、“REPEAT” 表示または “ALL REPEAT” 表示を消します。

■全曲を繰り返して演奏する (オール・リピート演奏)

1. 停止中または演奏中に [REPEAT] キーを2回押す。
 - オール・リピート・モード (“ALL REPEAT” 点灯) になり、全曲を繰り返し演奏します。
2. [PLAY▶] キーを押す。
 - 停止中のときは、[PLAY▶] キーを押すと演奏を始め、全曲を繰り返して演奏します。



- オール・リピートを解除するには、[REPEAT] キーを押して、“ALL REPEAT” 表示を消します。



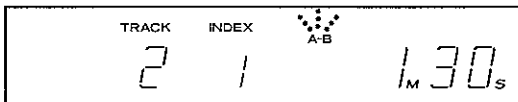
(このページの操作で使用するキー)

■ある部分を繰り返して演奏する (A-Bリピート演奏)

1. テン・キーまたは[PLAY▶]キーを押して演奏を始める。

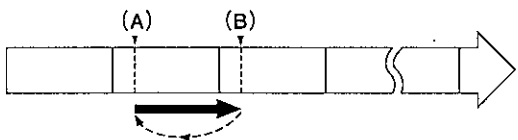
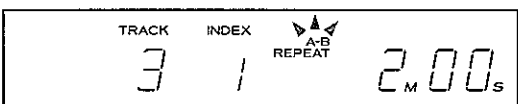
2. 繰り返しを始めたい位置(A)で[A-B]キーを押す。“A-B”点滅)

例：2曲目の1分30秒(位置A)から、3曲目の2分00秒(位置B)までを繰り返して演奏する場合。



● A-B間を設定中(“A-B”点滅中)に、[REPEAT]キーまたは[DISPLAY MODE]キーを押すと、A-Bリピートは解除します。

3. [◀◀SEARCH▶▶]キーを押し、繰り返しを終わりたい位置(B)で[A-B]キーを押す。“A-B”点灯/“REPEAT”点灯)



● 位置(A)に戻り、位置(B)まで、演奏を繰り返します。

● ◀◀キーまたは▶▶キーを押して、(A)点より前に繰り返しを終わる位置(B)を設定すると、(B)-(A)間を繰り返して演奏します。

● プログラム演奏、デリート・プログラム演奏、シングル演奏などでは、曲と曲をまたぐA-Bリピートはできません。

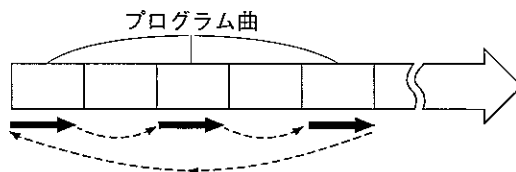
● A-Bリピートの演奏中に[A-B]キーを押す、または[REPEAT]キーを押すと、A-Bリピートを解除してそのまま演奏を続けます。

● [■STOP]キーを押すと、A-Bリピートは解除し、設定位置が消滅します。

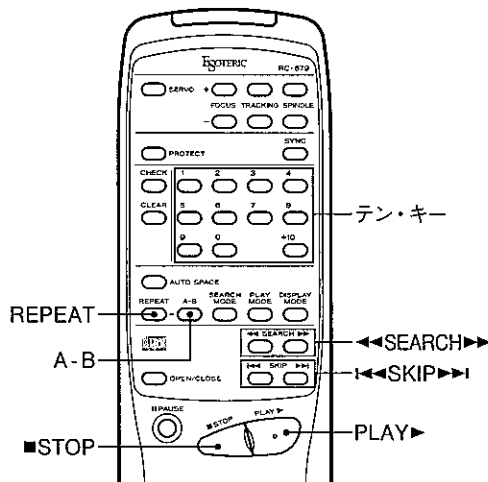
■プログラム・リピート演奏

プログラム演奏中(“PROGRAM”点灯)に、全曲リピート(“ALL REPEAT”点灯)にすると、プログラム順に全曲を繰り返して演奏します。

デリート・プログラム演奏では、デリート・プログラム以外の曲を繰り返して演奏します。



● 解除するには、もう一度[REPEAT]キーを押して、“ALL REPEAT”表示を消します。



(このページの操作で使用するキー)

選曲して演奏する

■ダイレクト選曲

リモコンのテン・キー (1~9、0、+10) で曲番を入力すると、[PLAY▶]キーを押すことなく、指定の曲から演奏を始めます。

[例] 曲番10以上をダイレクト選曲するとき：

曲番10を選曲：☞+10を1回押し、次に☞0を押す。

曲番25を選曲：☞+10を2回押し、次に☞5を押す。

●+10は10の位です。1の位を入力しないと入力完了になりません。

■スキップ・キーで選曲する (ミュージック・スキップ)

演奏中または一時停止中に[|◀◀SKIP▶▶|]キーを押すと、聞きたい曲の頭出しができます。

スキップ操作中は、インジケーターが消灯します。

- ノーマル演奏モードの停止中では、選曲になります。[PLAY▶]キーを押すと、演奏を始めます。
- プログラム演奏中では、プログラムしている曲番をスキップして演奏を続けます。
- デリート・プログラム演奏中では、プログラムしている曲番を除き、スキップして演奏を続けます。
- プログラム演奏、デリート・プログラム演奏モードの停止中は、スキップできません。

■前の曲にスキップする

● 演奏中または一時停止中に[|◀◀]キーを1回押し、演奏曲または一時停止中の曲の頭に戻ります。

● さらに[|◀◀]キーを押すと、押す度に前の曲へスキップします。キーを押し続けると、連続的に前の曲にスキップします。

● 最初の曲で[|◀◀]キーを押すと、最後の曲の頭にスキップします。

■後の曲にスキップする

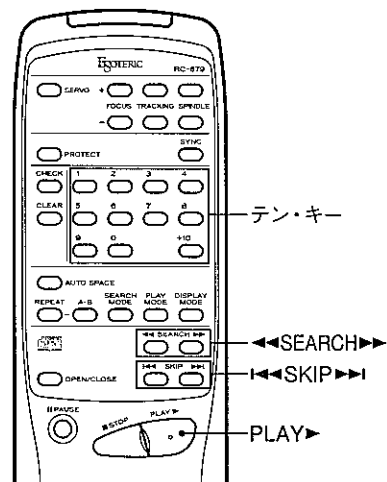
● 演奏中または一時停止中に[▶▶|]キーを押すと、次の曲の頭にスキップします。キーを押し続けると、連続的に後の曲にスキップします。

● 最後の曲で[▶▶|]キーを押すと、最初の曲の頭にスキップします。

■早送り/早戻しで選曲する (ミュージック・サーチ)

演奏中または一時停止中に[◀◀SEARCH▶▶]キーを押し続けると、早送り[▶▶]または早戻し[◀◀]になります。サーチ中は、再生音が小音量で聞こえますので、聞きたい曲の頭出しができます。

- サーチ中は、インデックス番号を消灯します。途中でキーから指を離すと演奏に戻ります。
- ノーマル演奏中、最終曲まで早送り[▶▶]すると、曲の終わりの2秒前で一時停止になります。
- ノーマル演奏中、最初の曲まで早戻し[◀◀]すると、曲の始めの1秒前で一時停止になります。
- シングル、プログラム、デリート・プログラムの演奏では、表示の曲番のみサーチして一時停止します。[PLAY▶]キーを押すと演奏します。



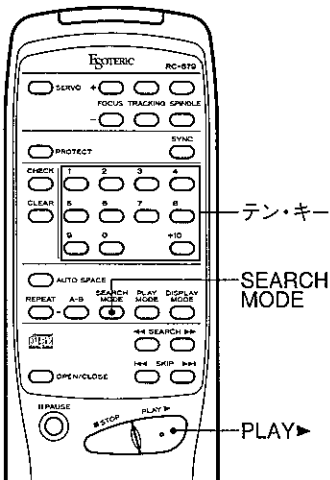
(このページの操作で使用するキー)

■サーチ・モードで演奏指定する (タイム・サーチ)

停止中または演奏中に〔SEARCH MODE〕をタイム・サーチにして曲番・分・秒を指定すると、指定の所から演奏を始めます。例に従って操作してください。

〔例〕10曲目の1分20秒から聞きたいとき：

1. 〔SEARCH MODE〕キーを1回押す。
 - タイム・サーチになり、“TRACK 1”が点滅します。
2. テン・キーで曲番10 (+10と0)を入力する。
 - “TRACK 10”が点灯、分の部分が点滅します。
3. テン・キーで1分(1)を入力して、次に20秒(+10を2回と0)を入力する。
 - “1M”が点灯に変わり、秒の部分が点滅します。次に20を入力すると、曲番10の1分20秒から演奏を始め、最終曲まで演奏します。
 - ポーズ中の入力では、〔PLAY▶〕キーを押します。
 - 入力の途中で解除するには、〔SEARCH MODE〕キーを押して、ノーマル演奏モードにします。
 - プログラム演奏、デリート・プログラム演奏モードでは、演奏指定ができません。



(このページの操作で使用するキー)

■インデックスで演奏指定する (インデックス・サーチ)

インデックス番号が記録されているCDでは、聞きたいインデックスから、演奏を始めることができます。

- 演奏中に〔SEARCH MODE〕キーを1回押すと、タイム・サーチ・モード (“TRACK 1”点滅)になります。2回キーを押すと、インデックス・サーチ・モード (“INDEX 0”が点滅)になります。3回キーを押すと、ノーマル・モードに戻ります。

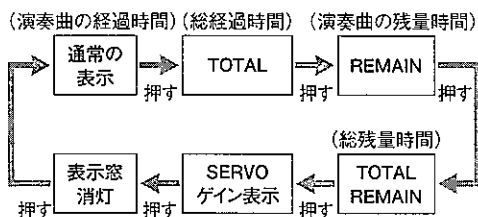
1. インデックス・サーチしたい曲を演奏する。
2. 演奏中、〔SEARCH MODE〕キーを2回押す。
 - インデックス・サーチになり、“INDEX 0”が点滅します。
3. テン・キーでインデックス番号を入力する。
 - 指定のインデックス番号をサーチして演奏します。
 - 記録されているインデックス番号以上の番号を入力すると、その曲の最後のインデックス番号から演奏します。
 - ポーズ中のインデックス・サーチ、またはポーズ中のスキップ選曲では、ディスクの記録情報を補正なしで表示するため、インデックスの変わり目でインデックス表示がちらつくことがありますが、故障ではありません。

※インデックスとは、1曲の中をいくつか区切って、それぞれに付けた索引番号のことです。インデックス番号が記録されているディスクには、(INDEX)マークが付いています。

演奏時間をみる

■ディスプレイ・モードについて (DISPLAY MODE)

〔DISPLAY MODE〕キーを押すと、表示モードを変更することができます。演奏中または一時停止中、キーを押す度に、順に次のように変わります。



- 通常の表示以外のモードで停止中に〔PLAY MODE〕キーを押すと、各モードは解除します。プレイ・モードが優先します。
- 表示窓消灯以外の各モードのとき、トレイを開けると、各モードは解除して通常の表示になります。
- 表示窓消灯のモードは、トレイを開けても解除せず、操作中だけ一時的に点灯して消灯します。

通常の表示：ノーマル・モード

- 曲番、INDEX番号、経過時間を表示します。

TOTAL/REMAIN/TOTAL REMAIN：タイム・モード

- タイム・カウンターの上に各モードを点灯します。総経過時間、残量時間、総残量時間を表示します。
- シングル、プログラム、デリート・プログラム演奏では、TOTAL、TOTAL REMAIN表示はできません。

ゲイン表示：サーボ・モード

- 演奏中のサーボ・モードのゲイン値を表示します。
- 停止中にサーボ・モードにすると、サーボ・ゲインの調整ができます。演奏中は調整できません。

表示窓消灯：ディスプレイ・オフ・モード

- 動作を続行したまま、〔SERVO〕インジケータを除く、全てのインジケータと表示窓を消灯にします。

■演奏時間をみるには (タイム・モード)

〔DISPLAY MODE〕キーを押してタイム・モードにすると、総経過時間や残量時間などを知ることができます。

- “SINGLE”、“PROGRAM”、または“DELETE PROGRAM”が点灯しているときは“TOTAL”、“TOTAL REMAIN”表示ができません。
- タイム・モードで停止中に〔PLAY MODE〕キーを押すと、タイム・モードが解除します。

■通常の表示：(経過時間)

タイム・カウンターの上に表示がありません。演奏中の曲の経過時間を表示します。

■TOTAL表示：(総経過時間)

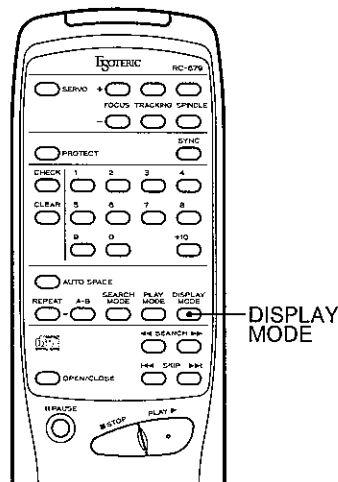
タイム・カウンターの上に“TOTAL”が点灯します。曲番1から演奏中の所までの総経過時間を表示します。

■REMAIN表示：(残量時間)

“REMAIN”が点灯。演奏曲の残量時間を表示します。

■TOTAL REMAIN表示：(総残量時間)

“TOTAL REMAIN”が点灯します。最終曲までの総残量時間を表示します。



(このページの操作で使用するキー)

特殊機能について

■曲間を開けて演奏する (AUTO SPACE)

[AUTO SPACE] キーを押すと(“AUTO SPACE”点灯)、曲と曲の間を一定(約4秒間)にして演奏します。

キーをもう1回押すと解除します。

MDやテープに録音後、頭出しするときに便利です。

■演奏中に表示を消す (DISPLAY)

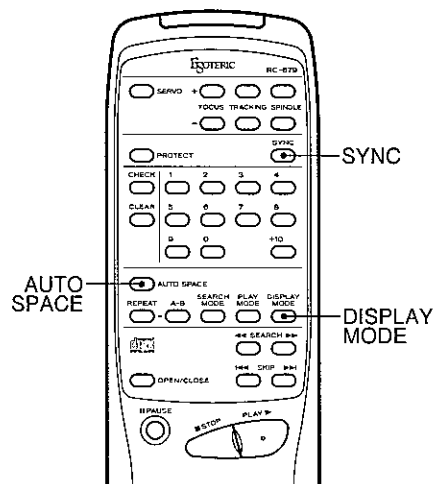
通常の表示で[DISPLAY MODE] キーを5回押すと、動作を継続したまま、[SERVO] インジケータを除く、全てのインジケータと表示窓を消灯にします。表示管から発生する微量なノイズを避け、音質を最優先にすることができます。

- 消灯モードは、トレイを開けても解除しません。[DISPLAY MODE] キーで解除してください。本機の電源を切ったときは解除します。
- 消灯モードで停止中、[PLAY MODE] キーを押すと解除して、プレイ・モードになります。
- 消灯中に[OPEN/CLOSE] キーを押すと、操作受け付け中(TOC情報の読み込みまで)、一時的に表示窓とインジケータを点灯して、また消灯します。
- 消灯モードで停止中にポーズまたは演奏にする、演奏中に[SEARCH MODE] キーの操作、テンキー入力、早送り/早戻しサーチ、スキップ選曲、停止するなど、アクチュエーター動作系のキーを押すと、入力受け付け中一時的に点灯してまた消灯します。
- 消灯モード中に[PROTECT] キーのON/OFF、リピート(A-Bキーは一時点灯)、オート・スペース、演奏からポーズ、また演奏にするなどのキー操作をすると、消灯したままキー入力を受け付けます。これらのモードを確認するときは、[DISPLAY MODE] キー押して、表示窓を点灯させてください。

■ワード・シンクについて (WORD SYNC ON/OFF)

外部同期信号を出力する機器(例えば、エソテリックD-30)と接続し、システムの同期(クロック)を一元化して、演奏したいときに使用します。

- リモコンの[SYNC] キーを押してON/OFFします。
- 停止中に[SYNC] キーを押すと、[WORD SYNC] インジケータが点滅して、外部同期(クロック)信号をサーチします。
- 同期信号がロックすると、インジケータが点灯に変わり、外部同期による演奏が可能になります。
- 同期周波数が合わないとき、または不安定なときは、同期信号がロックできません。インジケータが消灯してOFFに戻ります。



(このページの操作で使用するキー)

■ TOC作成機能について

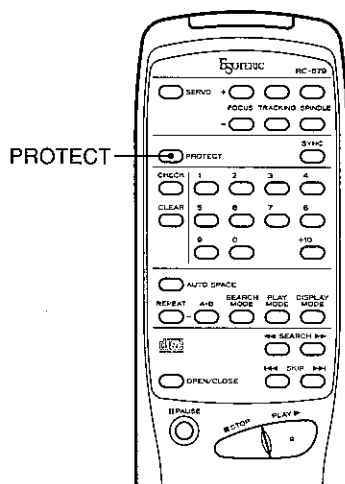
本機は、記録情報 (TOC) をリード・イン (読み取り) できないディスクでも、最初にトラックごとの情報をサーチして読み取りができると、トラック情報を基にTOCを作成してから、演奏することができます。

- 装着したディスクのTOCをリード・インしますが、リード・イン・エリアに致命的な傷などがあり、リード・イン不可のディスクと判定した場合、本機は直ちに各トラックをサーチし、トラック情報からTOCの作成を行います。
- トラックの境界部分に傷などがあり、時間情報を読めない場合は、読み取り可能な部分まで進み、そこを次のトラックの頭として記憶します。
- リード・イン時、表示窓の秒表示部に1、2・・・のように、1づつカウント (TOC作成した数を表示) が増えているときは、TOC作成の続行を意味します。内周から外周までサーチするため、多少時間がかかります。
- TOC作成後の演奏では、[◀◀SKIP▶▶] 動作などで多少時間がかかる場合があります。
- TOC作成後の演奏時、[◀◀SEARCH▶▶]、[PROGRAM]、[REPEAT] モードなどでは、TOC情報に従って動作しますので、読み取りできたトラック/総演奏時間の演奏をします。
- 途中でTOC作成を中止したいときは、[STOP] キーを押すと終了します。

■ プロテクト・モードについて (PROTECT)

演奏中または停止中に [PROTECT] キーを押します。プロテクト・モードをONにすると、従来方式でピット追従制御をします。

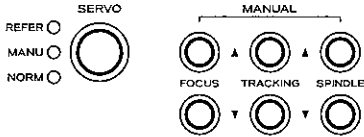
- プロテクトON (インジケータ点灯)：従来の制御方式でピックアップ・レンズを細かく動かして、ピット追従をします。偏芯、面振れ、傷などが多い状態の悪いディスクでは、従来の制御方式 (インジケータ点灯) にします。
- プロテクトOFF (インジケータ消灯)：偏芯追従の制御方式で、偏芯に対してもピックアップ全体を精密に動かして、レンズの力学的中点でピット追従をします。偏芯、面振れ、傷などが少ない高品質のディスクでは、偏芯追従制御 (インジケータ消灯) にします。音質優先でお聞きになりたい場合におすすめします。
- サーボ・ゲイン値を表示しているときは、プロテクトON/OFFできません。



(このページの操作で使用するキー)

■サーボ・モードについて (SERVO MODE)

本機は音質を最優先にするため、ディスクの状態によってサーボ量を選択できる、3種類のサーボ・モードを装備しています。

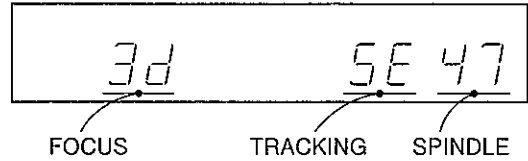


- 停止中または一時停止中〔SERVO〕キーを押すと、順に〔REFERENCE〕→〔MANUAL〕→〔NORMAL〕のサーボ・モードに変わります。選択したモードのインジケータが点灯します。
- 〔MANUAL〕モードを選択すると、ユーザーが3種類(“FOCUS”、“TRACKING”、“SPINDLE”)のサーボ・ゲインを設定することができます。
- 停止または一時停止中、サーボ・ゲイン値を表示しているとき〔STOP〕、〔PLAY〕、〔PAUSE〕キーを押すと、サーボ・モードは解除します。
- サーボ・ゲイン値表示のとき、〔OPEN/CLOSE〕キーを押してトレイを開けた場合、サーボ・モードは解除しますが、〔MANUAL〕モードで設定したゲイン値は保存されます。
- 演奏中のサーボ・モードのゲイン値を表示したいときは、〔DISPLAY MODE〕キーを何度か押します。
“ディスプレイ・モードについて”の説明を参照してください。

■REFERENCE (リファレンス・モード)

高品質のディスクを再生(演奏)するときに、最良の音を出すために、設定したサーボ・ゲイン値です。“ESOTERIC”が推奨するモードで、ゲインの変更はできません。

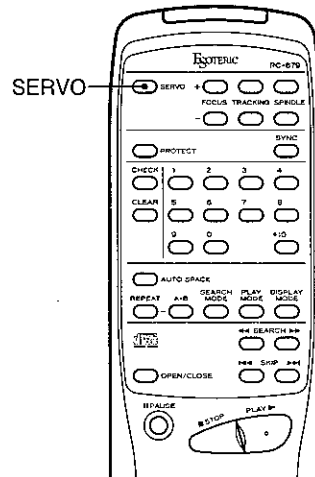
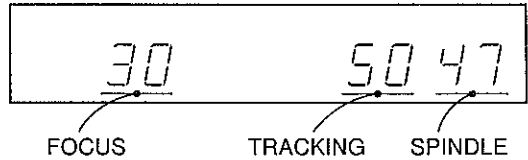
- 〔REFERENCE〕モードの設定値：3d 5E 47



■NORMAL (ノーマル・モード)

安定演奏を優先する自動ゲイン設定モードです。本機に採用したサーボICが、それぞれのディスクが持つ固有のばらつきを判定して、オート・ゲイン・コントロールで設定したサーボ・ゲイン値を表示します。

- 〔NORMAL〕モードの初期値(基準値)：30 50 47
ディスクごとに自動ゲイン設定しますので、初期値(基準値)は表示されません。

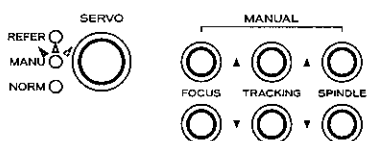


(このページの操作で使用するキー)

■MANUAL (マニュアル・モード)

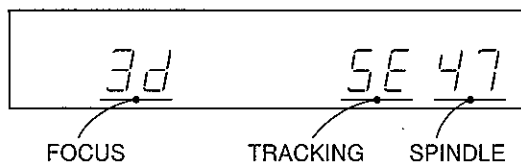
〔MANUAL〕モードにすると、停止中または一時停止中に“FOCUS”、“TRACKING”、“SPINDLE”のサーボ・ゲインを設定することができます。ユーザーの音質追求モードですが、設定したゲイン値によっては演奏できない場合があります。

その場合は〔MANUAL〕モードに戻り、ゲイン設定をやり直してください。好みの音質が得られたときは、ゲイン値とディスク名を書き取り、ディスク・ケースに貼っておくと良いでしょう。



■サーボ・ゲインの設定

- 表示は16進法2桁、“0～F”で現します。
- 〔MANUAL〕モードの初期値(基準値)：
3d 5E 47 (REFERENCEと同じ)



〔FOCUS〕キー (フォーカス・サーボ設定) :

“TRACK”表示部にフォーカス・ゲイン値を表示します。

- フォーカス・ゲイン初期値： 3d
 - フォーカス・ゲイン設定範囲： 4～F7
- 初期値3dを基準にしてゲイン設定してください。
- ▲キーを押すとサーボ・ゲインが下がります。
 - ▼キーを押すとサーボ・ゲインが上がります。
- キーを押し続けると、連続的にゲインが変わります。

〔TRACKING〕キー (トラッキング・サーボ設定) :

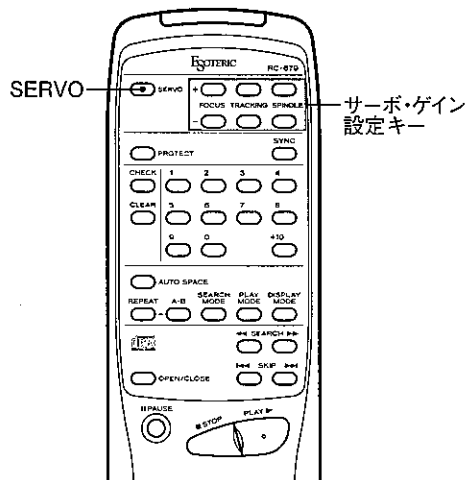
“分”表示部にトラッキング・ゲイン値を表示します。

- トラッキング・ゲイン初期値： 5E
 - トラッキング・ゲイン設定範囲： 8～Fd
- 初期値5Eを基準にしてゲイン設定してください。
- ▲キーを押すとサーボ・ゲインが下がります。
 - ▼キーを押すとサーボ・ゲインが上がります。
- キーを押し続けると、連続的にゲインが変わります。

〔SPINDLE〕キー (スピンドル・サーボ設定) :

“秒”表示部にスピンドル・ゲイン値を表示します。

- スピンドル・ゲイン初期値： 47
 - スピンドル・ゲイン設定範囲： 40～47
- 初期値47を基準にしてゲイン設定してください。
- ▲キーを押すとサーボ・ゲインが上がります。
 - ▼キーを押すとサーボ・ゲインが下がります。
- キーを押し続けると、連続的にゲインが変わります。

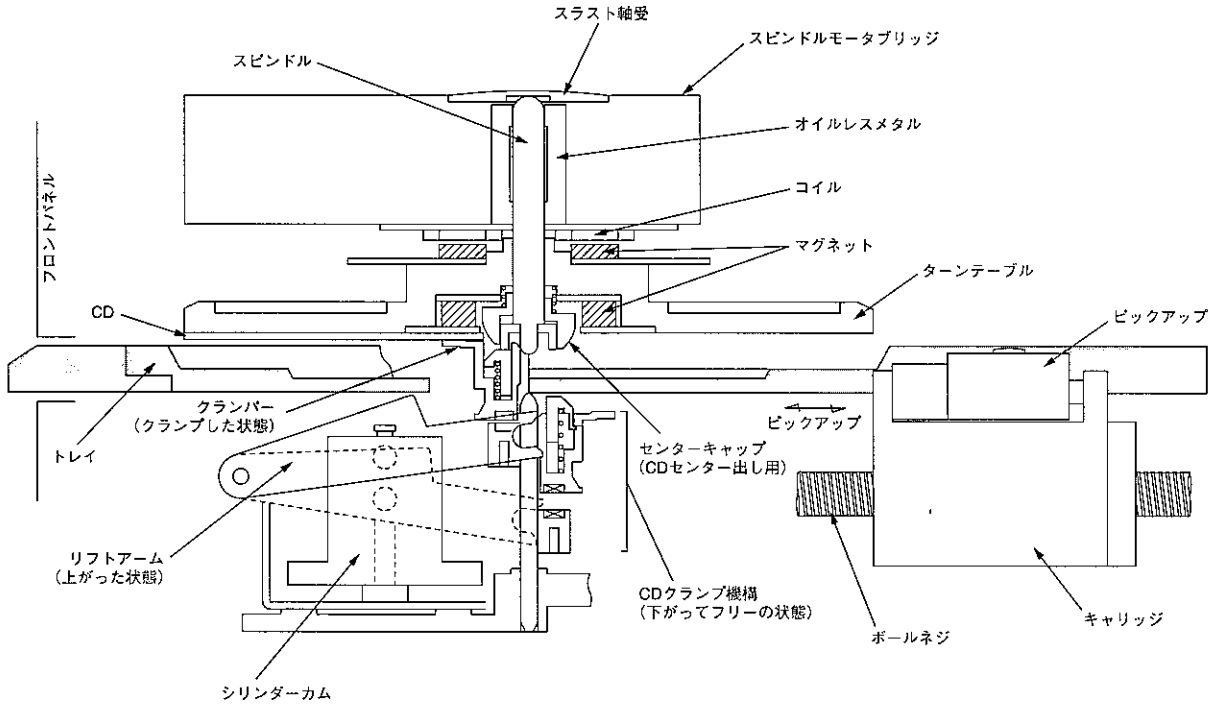


(このページの操作で使用するキー)

解説

■ESOTERIC P-0 ドライブ機構略図

(大径圧着テーパード・ターンテーブル)



ディスクの反りを矯正する大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用の V.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす、新開発の大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスクと同径で、しかも微小な角度をもつターンテーブルに、高精度に調整されたクランパーがディスクを圧着し、反りや歪みを矯正。そして、ターンテーブルと同角度に微調整されたピックアップにより、常にピックアップ光軸の中心で微細なピットを正確に読み取ると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした、全く新しいディスク・クランピング・システムです。すなわち、ピットをきわめて正確に読み取ることで、エラー補正量、サーボ量を大幅に低減。その結果、電気的にはサーボ電流の変動や読み取りエラーを激減させ、機械的にはサーボ時のレンズ振動に起因するノイズの発生や駆動

部全体の振動などにより発生するノイズを極少にし、音質を飛躍的に向上させることに成功しています。

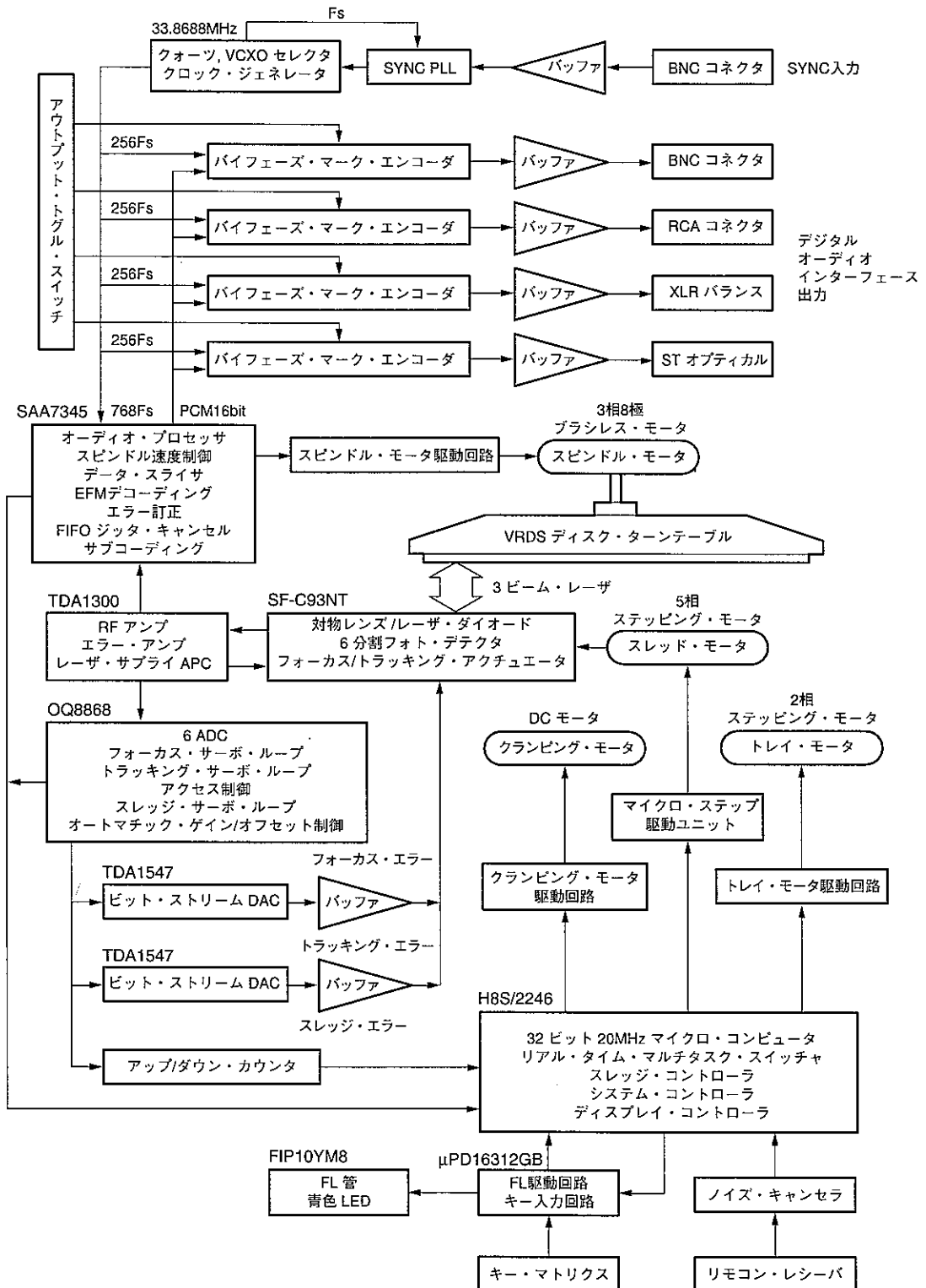
また、従来のCDプレーヤーでは、ピックアップ部とモーターを含めたターンテーブル部が、近接せざるを得ない構造であったため、強度や剛性の点で十分であるとは言えませんでした。

P-0では、3点ピンポイント支持の高精密削り出し鋼鉄25mm厚ブリッジに、スピンドル・モーター部を設け、アルミ合金メカベースに支持することでスピンドル・モーター部とピックアップ部を振動的に絶縁しました。

このことにより、各部の剛性、強度および耐振・耐共振性を飛躍的に高めることに成功しました。

ブロック・ダイアグラム

P-0 CDトランスポート



保証とアフターサービス (よくお読みください)

■保証書

- ・この製品には、別途“ご愛用者カード”を添付しております。
- ・カードは、「お買い上げ日・販売店名」などの記載事項をお確かめの上、販売店からお受け取りいただき、なるべく早めにご返送ください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日から1年です。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

■ご不明な点やご相談は

アフターサービス・メンテナンスに関して、ご不明な点およびご相談は、AVディビジョン電子機器事業部ハイエンド・グループ、またはAV技術相談室にお問い合わせください。

ハイエンド・グループ：☎0422-52-5073

AV技術相談室：☎0422-36-2210

■修理を依頼されるときは

本機に異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い上げ店または当社サービスセンターにご連絡ください。

■保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

- ・品名：CDトランスポート
- ・型名：P-0
- ・お買い上げ日：
- ・故障の状況：
- ・ご住所とお名前：
- ・電話番号：

仕様

〈ピックアップ〉

方式	対物レンズ駆動、光学式3ビーム
レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm

〈デジタル出力フォーマット〉

標本化周波数

44.1kHz±50PPM レベルⅠ

44.1kHz±150PPM (外部同期時) レベルⅡ

量子化ビット数 16ビット リニア

チャンネル数 L/R 2チャンネル

〈デジタル出力レベル〉

BNC : 0.5V_{p-p}/75Ω ±0.1V (COAXIAL)

RCA : 0.5V_{p-p}/75Ω ±0.1V (COAXIAL)

XLR : 3.5V_{p-p}/110Ω ±0.5V (BALANCED)

ST : -21~-12.5dBm/875nm (OPTICAL ST)

〈デジタル入力レベル〉

WORD SYNC IN

BNC : 3.0V_{p-p}/75Ω ±2.0V

〈一般〉

電源 AC100V 50 - 60Hz

消費電力 57W

本体寸法 (W×H×D)

本体 : 445×178×530 (mm)

電源部 : 220×178×439 (mm)

(接続プラグ、フットベース含む)

質量

本体 : 約30kg

電源部 : 約17.2kg

(フットベース含む)

〈付属品〉

- 電源コード (約2m) × 1
- DC電源接続コード (約1.2m) × 2
- フットベース (本体用) × 4
- フットベース (電源部用) × 4
- リモコン (RC-679) × 1
- 乾電池 (単3、SUM-3) × 2
- ご愛用者カード × 1
- 取扱説明書 (バインダー含む) × 1

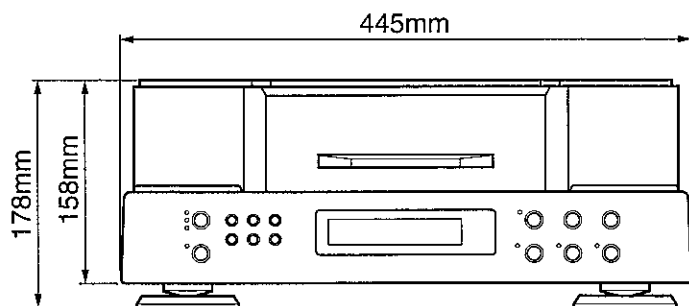
*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

*製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。

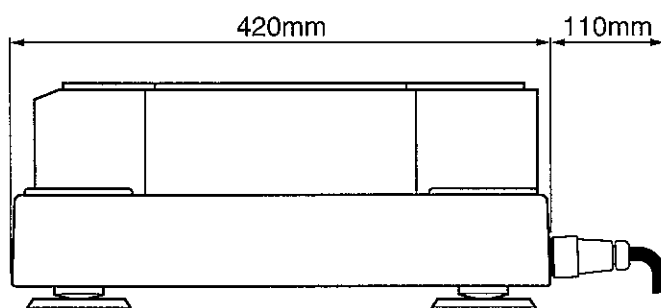
寸法図

本体 (CDトランスポート)

(前面)

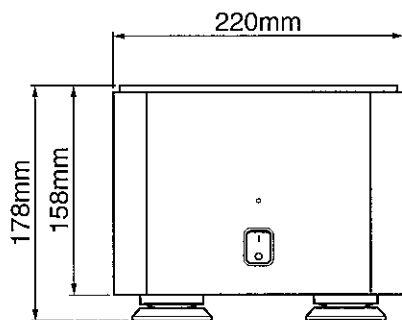


(側面)



電源部

(前面)



(側面)

